

とおきの学級づくりセミナー *in Chiba*

12/23  
Wed.

# 「学級をつむぐタテとヨコ」



*Akira Tsuchisaku*

## ミニネタ授業で教師の知的権威を 確立する ～学級づくりの縦糸論～

授業づくりの要諦は、何と言っても教師の知的権威の確立です。つまり「この先生の授業は面白いから聞かなきゃ！」と思わせる授業を、これでもかこれでもかと繰り返すことです。本講座では、子どもたちを夢中にさせるミニネタ授業の実際を、時間の許す限り連発します。

## 子どもたちを結びつけて学び合う 集団を創る ～学級づくりの横糸論～

子どもたちを教師に釘付けにしたら、次は子どもたち同士を結びつけます。これで学級は、あたかも1枚の布のように、しっとりとても強固な繊維となり得ます。本講座では、その実際を紹介します。

## 教師はなぜそう教えるのか？～哲学論 ・・・実践に己れの思想をこめよ！～

安易な追実践の羅列だけでは、学級は変わりません。なぜ教師はそう教えるのか？この問いに明確に答えることが求められます。本講座では、教師の持つ揺るぎなき思想の重要性を、具体的な実践を通して語ります。

土作 彰

奈良県広陵町立  
広陵西小学校教諭

やる気と集中力を持続させる授業づくりや、活気ある学級にするには、どうすればよいのか。誰にでもすぐにつかえるネタ(ミニネタ)による教育実践を提案。膨大な研究に基づくミニネタの数々は、猛烈におもしろく知的。著書に「教室に笑顔があふれる学級づくりミニネタ&コツ101」「教室のふんい気を変えるミニネタ活用の授業づくり—授業成立の基礎技術<3>」(学事出版)など。

どうしたらいいクラスになるのか。どうしたら教師についてきてくれるのか。どうしたら子ども同士がつながり合うのか。それは、タテ糸とヨコ糸にあった！その重要性を、授業づくりネットワーク誌でおなじみの両氏が思う存分語る、クリスマス企画です。



*Shinji Akasaka*

## 勇気づけの学級づくり ～タテ糸とヨコ糸を紡ぐ～

今、集団づくりの危機が指摘されています。それは、子ども同士がつながらなくなったと思われがちですが、そうではなくそのベースにある教師と子どもの関係も危ういと言われます。子ども同士(ヨコ糸)をつなぐときに、子どもと教師(タテ糸)がしっかりと結ばれている必要があるのです。つながることが難しい今の時代の学級づくりにおけるリーダーシップの在り方を提案します。

赤坂 真二

上越教育大学大学院准教授  
学校心理士 元新潟県公立学校教諭

アドラー心理学的アプローチの学級経営に取り組み、子どものやる気と自信を高める学級づくりを実証的に研究。そのユニークな取り組みは、NHKの番組「きらっと新潟」で特集が組まれる。著書に「友だちを『傷つけない言葉』の指導—温かい言葉かけの授業と学級づくり」「高学年女子の指導 困ったときの処方箋」「学級指導 困ったときの処方箋—先生のタイプ別アプローチ」「困った児童への言葉かけと指導」(学陽書房)「荒れ」への『治療』と『対策』のコツ—学級づくりの基礎・基本」(日本標準)など。

ココ



中央改札を出て、ロータリーを左。そのままモノレール下に沿って歩く。

- 日時 2009年12月23日(水) 9:55-16:45 (9:30開場)
- 会場 千葉市民会館(会場は飲食可能です。千葉市中央区要町1-1 (千葉駅東口徒歩7分))
- 定員 100名
- 費用 4000円(弁当1000円・懇親会約4000円は別途)
- 主催 学級づくり改革セミナー 千葉実行委員会
- 申込 お名前、所属、メールアドレス、昼食注文有無、懇親会参加有無をご記入の上、Fax 047-445-8612 または E-mail: kyokotpk@ybb.ne.jp まで。